

## 2022 事業年度:ボッシュ、厳しい環境下でも目標を達成 世界的な拡大が成長機会を確保

2023 年 2 月 3 日  
PI11605 RB Ka/Bär

- ▶ 売上高および業績目標を達成:2022 年の売上高は 884 億ユーロ、支払金利前税引前利益(EBIT)は 37 億ユーロに到達
- ▶ ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会会長のシュテファン・ハルトウング:「最も重要なことは、クライメートアクションには国際協力が必要だということです」
- ▶ ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会副会長のクリスティアン・フィッシャー:「エネルギーシステムの変革は手頃な価格でなければなりません」
- ▶ 財務担当取締役のマルクス・フォーシュナー:「ボッシュは厳しい環境下においても年間目標を達成しました」
- ▶ 人事労使関係担当ディレクターのフィリズ・アルブレヒト:「ボッシュのソフトウェア開発に携わる従業員数は、近いうちに 5 万人を超える見込みです」

シュトゥットガルト(ドイツ) – グローバル規模で革新的なテクノロジーとサービスを提供するボッシュは 2022 年、厳しいマクロ経済状況下においても売上高と業績を伸ばしました。暫定決算報告<sup>1</sup>によると、ボッシュ・グループの総売上高は 884 億ユーロとなりました。売上高は前年比約 12%増、為替調整後では約 10%増となりました。支払金利前税引前利益(EBIT)は 37 億ユーロに達し、支払金利前税引前利益率は約 4%となる見込みです。「2022 年度は厳しい状況下にありましたが、ボッシュが驚異的な技術革新力を有すると同時に、危機に強いことが改めて証明されました」と、ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会会長である[シュテファン・ハルトウング](#)は暫定決算報告の発表に際して述べています。「依然として厳しい環境の中で、私たちは的を絞った投資と国際的なプレゼンスの拡大により、世界中で成長の機会を確保しています。私たちは世界中の人々に『Invented for life』を体現するテクノロジーを提供し、気候に優しい暖房から省エネや持続可能なモビリティに至るまで、社会に有意義な貢献をしたいと考えています」

ボッシュは最近、中国の蘇州にあるエンジニアリング・製造センターに 10 年間で約 9 億 5,000 万ユーロを投資することを発表しました。同センターでは、電動化と自動化の分野で現地市場の需要に応じて特別に設計されるモビリティソリューションと製品を開

<sup>1</sup> 内部報告に基づく。後日発表される年次報告書の外部の数値とは異なる場合があります。

発する予定です。同時に、ポッシュはハイテク拠点としての欧州の地位を高めることに貢献しています。「代表的な例は、ドレスデンとロイトリンゲンにあるウエハ製造工場の拡張です」とハルトウングは述べています。「2026年までの数年間で、ポッシュはさらに30億ユーロを半導体事業に投資する予定です。これは、モビリティ分野における半導体不足の緩和にも貢献します」。ポッシュはまた、エジプト、インド、メキシコ、米国、ベトナムを含む各地において、グローバルな事業拡大にもさらに注力する予定です。

### 国際貿易：繁栄とクライメートアクションに不可欠な協力

ポッシュでは、特にネットワーク化、自動化および電動化によってもたらされる市場と技術環境の変化は、持続可能性の重要性の高まりとともに、今後数年間の成長の原動力になると捉えています。またASEAN諸国などの新興地域における需要増加は、さらなる市場の成長につながります。このような背景からハルトウングは、ポッシュが経済およびエネルギー政策の状況において有利な立場にあると考えています。しかし、インフレを引き起こすエネルギー不足は消費に悪影響を及ぼし、ひいては長期的には通貨の安定に悪影響を及ぼす可能性があります。このため、ハルトウングは中央銀行による金融引き締め政策の導入を歓迎しましたが、同時に世界的な経済圏の形成に対して警鐘を鳴らしました。「経済システムの断片化は、技術革新力とすべての人の繁栄を脅かします」とハルトウングは語り、「最も重要なことは、クライメートアクションには国際協力が必要だということです」と続けました。

ハルトウングは、再生可能エネルギーのさらなる発展が、環境と経済の持続可能性という、相反する目標を解決する方法であると考えています。「エネルギーシステムの変革においては、手頃な価格を維持する必要があり、企業や家庭への電力供給停止につながることはありません。また、化石燃料の使用は可能な限り避けるべきです」。ポッシュはその一翼を担い、燃料電池と水素技術のペースを加速していると語っています。「eモビリティに関しては、一貫して高い受注を記録しています」とハルトウングは述べました。その結果、ポッシュは早ければ2026年までにこのセグメントで60億ユーロの売上高を記録することを見込んでいます。中国では今年、eAxleとモーターの事業が黒字化する見込みです。

### クライメートニュートラル技術：需要を駆り立てるエネルギー危機

さまざまな課題があるにもかかわらず、エネルギーおよび気候危機により、クライメートニュートラル技術に対する世界的な需要が高まっています。これにより、ポッシュにもさまざまな新しい展望が開かれており、家庭向け製品の売上高はすでに200億ユーロ以上となっています。「ポッシュの製品ポートフォリオにより、家庭でのエネルギー消費の約90%にプラスの影響を与えることができます」と、ロバート・ポッシュ GmbH 取締役会副会長であり、消費財およびエネルギー・ビルディングテクノロジー事業セクターの責任者も務める[クリスティアン・フィッシャー](#)は語っています。「このうち85%は暖房と給湯に関連し、15%は家電製品に関するものです」。2022年、ポッシュはドイツにおけるヒートポンプの販売台数を50%増に拡大しました。欧州のヒートポンプ市場は今後2025年にかけて年率25~35%、ポッシュでは40%近い成長が見込まれており、市場シェアを獲得する機会が潜在しています。そのために、ポッシュは欧州でのヒートポ

ンプの製造能力を拡大しており、今年の初めからドイツのアイベルスハウゼンの生産施設の増強を進めています。ボッシュはエネルギーシステムの変革にさらなる成長の可能性があると考えています。「しかし、この変革は手頃な価格でなければなりません」と、フィッシャーは述べます。「建物では、改修と補強のコストを過小評価すべきではありません」。ボッシュがヒートポンプとガスボイラーからなるハイブリッドサーモテクノロジーに注目しているのは、このためです。フィッシャーは将来、車両と建物のエネルギーの流れを組み合わせることで、さらなる可能性が生まれると考えており、「私たちは自転車から油圧機器まで、あらゆるものを電動化しており、車両はもちろん建物にも精通しています」と述べました。

### 雇用主の魅力:持続可能性は熟練労働者を引きつける

ボッシュはまた、2022 年度における独自の持続可能性目標と気候目標の実施においても前進を遂げ、この 1 年間で電力消費量に占める再生可能エネルギーの割合を 89%から 94%に引き上げました。「2022 年には、2030 年の目標として設定した 1.7 テラワット時の省エネ目標の半分近くを達成しました」と、ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバー兼人事労使関係担当ディレクターであり、持続可能性の責任者でもある[フリズ・アルブレヒト](#)は述べています。「同時に、持続可能性へのコミットメントにより、ボッシュはより魅力的な雇用主となっています」。アルブレヒトによれば、ボッシュの持続可能性戦略は、求職者にとってますます重要な考慮事項になっています。熟練労働者が不足している現在、世界中で優秀な人材を見つけることがボッシュにとってもより困難になっている、とアルブレヒトは語り、ソフトウェアの専門家を獲得する競争において、インドの重要性が増していることを指摘しています。ボッシュはそうした従業員をインドだけで 17,000 人擁し、グローバル全体では 38,000 人から 44,000 人に増加しています。ソフトウェア開発者の需要は依然として高いままで、ボッシュは 2020 年代半ばまでに約 1 万人の増員を予定しています。「ボッシュのソフトウェア開発に携わる従業員数は、近いうちに 5 万人を超える見込みです」とアルブレヒトは述べています。ボッシュ・グループは組み立てラインにおける従業員のデジタルスキルの開発にも取り組んでいます。たとえば今年、モビリティソリューションズ事業セクターの取り組みである「LernWerk」という取り組みが開始されます。最初の目標は、ドイツのすべての拠点において「未来の工場」で働くために必要なスキルを向上させることです。

### 2022 年の業績状況:モビリティ事業が最高の売上成長を記録

「半導体不足と景気低迷にもかかわらず、すべての事業セクターが売上高を伸ばすことができました」と、ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会メンバー兼財務担当取締役である[マルクス・フォーシュナー](#)は述べています。2022 年に 526 億ユーロの売上高を記録したモビリティソリューションズは、再び最大の売上高を生み出した事業セクターとなりました。売上高は 17%の増加で、為替調整後は 12%増となりました。「当社の売上高が自動車生産台数を上回るペースで成長したことを、喜ばしく思います」と、フォーシュナーは述べています。しかし、ボッシュは収益力に満足しておらず、サプライチェーン全体にわたるコストの増加とモビリティ事業の変革に向けた先行投資により、利益率が圧迫されたとフォーシュナーは述べています。産業機器テクノロジー事業セクターの売上高は 14%増の 69 億ユーロに達しました。為替調整後の成長率は 11%で

す。フォーシュナーは、HydraForce 社の買収と Elmo 社の取得は、ボッシュの産業機器テクノロジー事業にとって重要なマイルストーンであると述べています。消費財事業セクターは、消費者が家電製品や電動工具の買い控えが顕著だったにもかかわらず、売上高をわずかに伸ばすことができたこととフォーシュナーは説明します。同セクターの売上高は 2%増の 215 億ユーロに達し、為替調整後では 3%増となりました。一方、エネルギー・ビルディングテクノロジー事業セクターの成長は、エネルギー効率の高い住宅およびビルディングテクノロジーに対する需要の高まりが継続したことを反映しています。フォーシュナーは、売上高が 15%増の 70 億ユーロに増加したと報告しています。為替調整後は 13%増となりました。

### 2022 年の業績状況: 下半期のより強い成長

「心強いことに、すべての地域で売上高を大きく伸ばしました」と、フォーシュナーは述べ、「特に 2022 年下半期に力強い成長が見られました」と続けました。欧州の売上高は 8%増の 448 億ユーロに達し、為替調整後では 10%増となりました。「欧州の成長はウクライナでの戦争とその影響により、他の地域よりも大きな打撃を受けました」と、フォーシュナーは述べています。北米の売上高は 25%増の 143 億ユーロとなりました。為替調整後の売上高は 11%増で、ボッシュ・グループの全地域の中で 2 番目に大きな売上高の伸びを見せました。フォーシュナーは、ボッシュの暖房および空調ソリューション事業の発展が特に目覚ましいと報告しています。南米の売上高は 30%増の 18 億ユーロとなり、他のどの地域よりも速く伸び、為替調整後では 21%増となりました。フォーシュナーが指摘するように「強い経済がこの成長の大きな要因」でした。アジア太平洋地域の売上高は 12%増の 275 億ユーロで、為替調整後は 8%増となりました。フォーシュナーによると、この地域はインドの力強い成長の恩恵を受けました。対照的に、中国では新型コロナウイルス政策の変更により、年末の事業の発展が鈍化しました。

### 2022 年の従業員数の推移: 従業員は約 18,000 人増加

2022 年 12 月 31 日時点で、ボッシュ・グループの総従業員数は全世界あわせて約 42 万 300 人でした。これは前年から約 18,400 人、およそ 4%増加したことになります。ドイツ国内の従業員数は 2,600 人増の 133,400 人でした。「この全体の増加の約半分は、研究開発に携わる従業員によるものです」と、フォーシュナーは説明します。この分野の従業員数は 84,800 人で、そのうち 44,000 人がソフトウェア開発者です。

### 2023 年の展望: 世界の景気回復の勢いが鈍化

ボッシュは景気後退を見込んでおり、今年の世界経済の成長率は 2%未満になると予想しています。「世界のビジネス環境はすでに経済的負担を反映しています」と、フォーシュナーは語っています。「金利の上昇が、投資、特に建設活動と個人消費を圧迫しています」。欧州では、一旦低下したエネルギーコストが著しく上昇しているため、この傾向がさらに強まっています。一方、中国ではゼロコロナ政策の終了に伴い、大規模な感染の波が沈静化した後で回復プロセスが始まると見られています。フォーシュナーによれば、ボッシュは重要なセクターでの景気後退を感じており、バリューチェーンにおいて継続的なコスト圧力がかかると予想しています。それと同時に、将来のテクノロ

ジーの成長に必要な資金を調達するために、多額の資本を投入する必要があります。「ポッシュのような革新的な企業は、多額の先行投資を行う必要があります」と述べました。ポッシュは 2023 年を通じて売上高を増やし、収益力をさらに改善することを目指しているとフォーシュナーは続けました。「ポッシュは少なくとも長期的な目標である利益率 7%以上の達成に向けて順調に進んでいます」とフォーシュナーは言いました。「こうした経済的に厳しい状況において、私たちは収益力と財務力を維持しながら、投資と買収の可能性も視野に入れ、バランスを保っていきます」

**報道用画像:** #8b156bc8, #57d49ee2, #4f573c1d, #ab8970f7, #9af3254f, #3219163, #50efe144, #1713084, #1360146

**インフォグラフィック:** #369a46a9, #3a5f2dd3, #2990f5a3, #677d3ab2

#### **報道関係対応窓口:**

##### **コーポレート・事業・財務関連:**

Sven Kahn、電話: +49 711 811-6415、Twitter: @BoschPress

##### **エネルギー・建築関連テクノロジー:**

Dörthe Warnk、電話: +49 711 811-55508、Twitter: @d\_warnk

##### **持続可能なモビリティ:**

Jörn Ebberg、電話: +49 711 811-26223、Twitter: @joernebberg

##### **人事・社会福祉:**

Nora Katharina Lenz-Gaspary、電話: +49 711 811-13315、Twitter: @BoschPress

#### **世界のポッシュ・グループ概要**

ポッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2022 年の従業員数は約 42 万人 (2022 年 12 月 31 日現在)、売上高は 884 億ユーロ (約 12.2 兆円\*)を計上しています。現在、事業はモビリティ ソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ポッシュは IoT テクノロジーのリーディングプロバイダーとして、スマートホーム、インダストリー 4.0 さらにコネクテッドモビリティに関する革新的なソリューションを提供しています。ポッシュは、サステイナブル、安全かつ魅力的なモビリティを追求しています。ポッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ポッシュ・グループは、AI (人工知能) を搭載する、もしくは AI が開発・製造に関わった製品を提供することで、コネクテッドライフを円滑にすることを戦略目標に掲げています。ポッシュは、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ポッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」-人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ポッシュ・グループは、ロバート・ポッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ポッシュは 2020 年第一四半期に、世界 400 超の拠点でカーボンニュートラルを達成しています。ポッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 128 の拠点で約 8 万 5,000 人の従業員が研究開発に、そのうち約 4.4 万人がソフトウェアエンジニアリングに携わっています。

ポッシュの起源は、1886 年にロバート・ポッシュ (1861~1942 年) がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ポッシュ GmbH の独自の株主構造は、ポッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ポッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ポッシュ GmbH の株式資本の 94% は慈善団体であるロバート・ポッシュ財団が保有しており、残りの株式はロバート・

ボッシュ GmbH および創業家であるボッシュ家が所有する法人が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っています。

\*2022 年の為替平均レート、1 ユーロ=137.9900 円で計算

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)